



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場会社名 株式会社カネカ 上場取引所 東・大・名
 コード番号 4118 URL <http://www.kaneka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 公一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 石原 忍 (TEL) (06) 6226-5169
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 117,679 | △1.1 | 3,872 | 6.5 | 3,895 | 11.6 | 1,833 | △17.1 |
| 24年3月期第1四半期 | 118,977 | 5.4 | 3,637 | △42.5 | 3,490 | △51.3 | 2,212 | △51.7 |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1,643百万円(—%) 24年3月期第1四半期 1,406百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 5.44 | 5.44 |
| 24年3月期第1四半期 | 6.53 | 6.52 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 459,954 | 253,100 | 52.9 |
| 24年3月期 | 467,082 | 257,460 | 53.0 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 243,299百万円 24年3月期 247,526百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 8.00 | — | 8.00 | 16.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 240,000 | 2.2 | 8,000 | 24.3 | 7,500 | 29.8 | 4,000 | 40.7 | 11.87 |
| 通期 | 500,000 | 6.5 | 20,000 | 52.1 | 18,500 | 46.2 | 10,000 | 85.1 | 29.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期1Q | 350,000,000株 | 24年3月期 | 350,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期1Q | 13,050,494株 | 24年3月期 | 13,049,811株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期1Q | 336,949,779株 | 24年3月期1Q | 338,929,053株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成24年8月8日にて、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。
- ・決算説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。
(当社ホームページ)
<http://www.kaneka.co.jp/finance>

【添付資料】

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | P. 4 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | P. 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 9 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | P. 11 |
| (5) セグメント情報等 | P. 11 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年6月30日)の業績は、売上高は117,679百万円(前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)比1.1%減)と前年同四半期と比較して減収となりましたが、営業利益は3,872百万円(前年同四半期比6.5%増)、経常利益は3,895百万円(前年同四半期比11.6%増)と増益となりました。一方、四半期純利益は特別損失を計上したことにより、1,833百万円(前年同四半期比17.1%減)と減益となりました。

セグメント別では、前年同四半期と比較して、化成品事業、発泡樹脂製品事業、合成繊維、その他事業は増収となりましたが、機能性樹脂事業、食品事業、ライフサイエンス事業、エレクトロニクス事業は減収となりました。営業利益は、機能性樹脂事業、発泡樹脂製品事業、食品事業は減益となりましたが、化成品事業、ライフサイエンス事業、合成繊維、その他事業は増益となり、エレクトロニクス事業は損失が縮小しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①化成品事業

塩化ビニール樹脂は、国内の需要低迷の影響を受けました。塩ビ系特殊樹脂は、国内市場・海外市場ともに販売数量が増加しました。か性ソーダは、国内市況が堅調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は24,430百万円と前年同四半期と比べ1,702百万円(7.5%増)の増収となり、営業利益は1,294百万円と前年同四半期と比べ274百万円(26.9%増)の増益となりました。

②機能性樹脂事業

モディファイヤーは、製品差別化力の向上、コストダウンなどの収益体質強化に注力しましたが、国内及び海外市場の需要低迷の影響を強く受け、販売数量は低調に推移しました。変成シリコーンポリマーは、国内向けの販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は18,160百万円と前年同四半期と比べ1,872百万円(9.3%減)の減収となり、営業利益は1,566百万円と前年同四半期と比べ522百万円(25.0%減)の減益となりました。

③発泡樹脂製品事業

発泡スチレン樹脂・成型品、押出發泡ポリスチレンボードは、販売数量が前年同四半期を下回りました。ビーズ法発泡ポリオレフィン、東日本大震災やタイの洪水災害によって停滞したサプライチェーンの回復やエコカー補助金制度の復活などを背景に販売数量が増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は14,098百万円と前年同四半期と比べ225百万円(1.6%増)の増収となりましたが、営業利益は616百万円と前年同四半期と比べ53百万円(8.0%減)の減益となりました。

④食品事業

食品は、国内の消費市場が低調に推移し、低価格品志向が一層強まるなかで、新製品の拡販やコストダウンに注力したものの、原料価格高騰の影響を受けました。

以上の結果、当セグメントの売上高は32,261百万円と前年同四半期と比べ809百万円(2.4%減)の減収となり、営業利益は1,259百万円と前年同四半期と比べ363百万円(22.4%減)の減益となりました。

⑤ライフサイエンス事業

医療機器は、インターベンション事業が公定価格の引下げにより伸び悩みましたが、血液浄化システムは安定して拡大しました。医薬バルク・中間体は、販売数量が低調に推移しました。機能性食品素材は、高機能品の販売数量拡大とともに、徹底したコストダウンに注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,515百万円と前年同四半期と比べ1,016百万円(8.8%減)の減収となりましたが、営業利益は1,927百万円と前年同四半期と比べ242百万円(14.4%増)の増益となりました。

⑥エレクトロニクス事業

超耐熱性ポリイミドフィルム、光学材料は、エレクトロニクス製品市場の需要の拡大と新規案件の採用などにより販売数量が前年同四半期を上回りました。太陽電池は、国内市場向けの拡販と徹底したコストダウンに注力しました。太陽電池関連部材は販売数量が低調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は9,803百万円と前年同四半期と比べ135百万円(1.4%減)の減収となりましたが、営業損失は658百万円と前年同四半期に比べ損失が縮小しました。

⑦合成繊維、その他事業

合成繊維は、高付加価値品の拡販、販売価格の修正やコストダウンなどの収益改善策に注力しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は8,409百万円と前年同四半期と比べ606百万円(7.8%増)の増収となり、営業利益は1,237百万円と前年同四半期と比べ838百万円(209.8%増)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ7,128百万円減の459,954百万円、有利子負債残高は、65百万円減の74,612百万円となりました。また、純資産は、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の減少等により4,360百万円減の253,100百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動による資金の増加は、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等により8,237百万円となりました。投資活動による資金の支出は、有形固定資産の取得による支出等により7,828百万円、財務活動による資金の支出は、配当金の支払額等により2,567百万円となりました。この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、24,968百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、長く低迷していた米国経済に緩やかな回復の動きが見られるものの、欧州経済低迷の長期化、中国・インドなどアジア諸国の成長ペース鈍化など、全体として減速感が広がっております。

わが国経済は、震災復興需要などを背景として緩やかな回復基調にありますが、足元では円高、原燃料価格の上昇、電力供給制限など不安定要素を多く抱え、先行きの不透明感が強い情勢となっております。

このような厳しい経済環境の中、当社グループは、重点戦略分野への事業展開を進め、新規事業の創出、グローバル展開やアライアンスの強化等により、事業構造の変革を推進してまいります。また、既存事業での販売数量増大のための施策や、生産から販売まで含めたトータルコスト低減に向けた技術開発や業務革新をグループ一体となって進め、収益力強化に徹底して取り組んでまいります。

なお、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 27,309 | 25,000 |
| 受取手形及び売掛金 | 118,367 | 114,580 |
| 有価証券 | 322 | 322 |
| 商品及び製品 | 44,225 | 46,713 |
| 仕掛品 | 8,823 | 8,499 |
| 原材料及び貯蔵品 | 23,753 | 22,794 |
| その他 | 13,389 | 14,847 |
| 貸倒引当金 | △164 | △133 |
| 流動資産合計 | 236,027 | 232,626 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 52,173 | 51,312 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 62,739 | 60,560 |
| その他(純額) | 49,524 | 50,866 |
| 有形固定資産合計 | 164,437 | 162,739 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,935 | 3,522 |
| その他 | 3,035 | 2,932 |
| 無形固定資産合計 | 6,970 | 6,454 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 41,658 | 39,461 |
| その他 | 18,514 | 19,208 |
| 貸倒引当金 | △527 | △536 |
| 投資その他の資産合計 | 59,646 | 58,132 |
| 固定資産合計 | 231,054 | 227,327 |
| 資産合計 | 467,082 | 459,954 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 64,444 | 63,265 |
| 短期借入金 | 37,061 | 37,760 |
| 未払法人税等 | 2,834 | 1,572 |
| 引当金 | 710 | 16 |
| その他 | 40,820 | 41,593 |
| 流動負債合計 | 145,871 | 144,207 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 15,000 | 15,000 |
| 長期借入金 | 24,151 | 23,387 |
| 退職給付引当金 | 19,008 | 18,835 |
| 引当金 | 336 | 300 |
| 負ののれん | 430 | 378 |
| その他 | 4,822 | 4,744 |
| 固定負債合計 | 63,750 | 62,645 |
| 負債合計 | 209,621 | 206,853 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 33,046 | 33,046 |
| 資本剰余金 | 34,836 | 34,836 |
| 利益剰余金 | 197,372 | 196,540 |
| 自己株式 | △10,552 | △10,552 |
| 株主資本合計 | 254,703 | 253,870 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,664 | 3,232 |
| 為替換算調整勘定 | △11,841 | △13,804 |
| その他の包括利益累計額合計 | △7,176 | △10,571 |
| 新株予約権 | 137 | 137 |
| 少数株主持分 | 9,796 | 9,663 |
| 純資産合計 | 257,460 | 253,100 |
| 負債純資産合計 | 467,082 | 459,954 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 118,977 | 117,679 |
| 売上原価 | 90,802 | 89,031 |
| 売上総利益 | 28,174 | 28,647 |
| 販売費及び一般管理費 | 24,537 | 24,774 |
| 営業利益 | 3,637 | 3,872 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 498 | 490 |
| 為替差益 | 2 | 89 |
| 持分法による投資利益 | 87 | 78 |
| その他 | 234 | 243 |
| 営業外収益合計 | 823 | 901 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 239 | 222 |
| 固定資産除却損 | 242 | 180 |
| その他 | 487 | 475 |
| 営業外費用合計 | 969 | 879 |
| 経常利益 | 3,490 | 3,895 |
| 特別損失 | | |
| 支払補償費 | — | 614 |
| 訴訟関連費用 | — | 141 |
| 特別損失合計 | — | 755 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,490 | 3,139 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,464 | 950 |
| 法人税等調整額 | △331 | 273 |
| 法人税等合計 | 1,132 | 1,224 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,357 | 1,914 |
| 少数株主利益 | 145 | 81 |
| 四半期純利益 | 2,212 | 1,833 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,357 | 1,914 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △674 | △1,426 |
| 為替換算調整勘定 | △275 | △2,126 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1 | △6 |
| その他の包括利益合計 | △951 | △3,558 |
| 四半期包括利益 | 1,406 | △1,643 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,275 | △1,560 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 130 | △83 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 3,490 | 3,139 |
| 減価償却費 | 6,859 | 6,578 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △190 | △136 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △66 | △18 |
| 受取利息及び受取配当金 | △526 | △510 |
| 支払利息 | 239 | 222 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △87 | △78 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 382 | 110 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,400 | 3,001 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △5,007 | △1,745 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,899 | △943 |
| その他 | 3,356 | 1,129 |
| 小計 | 8,949 | 10,749 |
| 利息及び配当金の受取額 | 554 | 532 |
| 利息の支払額 | △132 | △160 |
| 法人税等の支払額 | △4,141 | △2,883 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 5,230 | 8,237 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,849 | △7,611 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △169 | △319 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △11 | △43 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 410 | 4 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △328 | — |
| 関係会社株式の売却による収入 | 98 | — |
| 貸付けによる支出 | △27 | △179 |
| 貸付金の回収による収入 | 193 | 301 |
| その他 | 225 | 19 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,458 | △7,828 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 871 | 367 |
| 長期借入れによる収入 | 771 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △469 | △82 |
| 社債の償還による支出 | △89 | — |
| リース債務の返済による支出 | △116 | △105 |
| 配当金の支払額 | △2,711 | △2,695 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △41 | △49 |
| 自己株式の取得による支出 | △4 | △0 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,788 | △2,567 |

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|--------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 467 | △213 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,549 | △2,371 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 36,978 | 27,157 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | — | 182 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 35,428 | 24,968 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | | 調整額 | 合計 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|---------|--------|---------|
| | 化成品 | 機能性樹脂 | 発泡樹脂製品 | 食品 | ライフサイエンス | エレクトロニクス | 合成繊維、その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 22,727 | 20,032 | 13,873 | 33,070 | 11,532 | 9,939 | 7,803 | 118,977 | — | 118,977 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 633 | 160 | 56 | 0 | 8 | 362 | 387 | 1,609 | △1,609 | — |
| 計 | 23,360 | 20,193 | 13,929 | 33,070 | 11,540 | 10,301 | 8,190 | 120,587 | △1,609 | 118,977 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 1,020 | 2,088 | 670 | 1,623 | 1,685 | △1,018 | 399 | 6,468 | △2,831 | 3,637 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 6,468 |
| セグメント間取引消去 | △2 |
| 全社費用(注) | △2,825 |
| その他の調整額 | △4 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,637 |

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | | | 調整額 | 合計 |
|-------------------|---------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|---------|--------|---------|
| | 化成品 | 機能性樹脂 | 発泡樹脂製品 | 食品 | ライフサイエンス | エレクトロニクス | 合成繊維、その他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,430 | 18,160 | 14,098 | 32,261 | 10,515 | 9,803 | 8,409 | 117,679 | — | 117,679 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 398 | 140 | 37 | — | 202 | 222 | 398 | 1,400 | △1,400 | — |
| 計 | 24,828 | 18,300 | 14,136 | 32,261 | 10,718 | 10,026 | 8,808 | 119,079 | △1,400 | 117,679 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,294 | 1,566 | 616 | 1,259 | 1,927 | △658 | 1,237 | 7,244 | △3,371 | 3,872 |

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|--------|
| 報告セグメント計 | 7,244 |
| セグメント間取引消去 | △14 |
| 全社費用(注) | △3,338 |
| その他の調整額 | △17 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 3,872 |

(注) 全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、研究開発体制の一部を見直し、従来「エレクトロニクス」事業に区分しておりました研究開発費の一部を基礎的研究開発費として全社費用に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。